

防災教育ハイブリッドシンポジウム

防災教育 の最前線

～誰一人取り残さない社会へ～



2022年

3月6日

参加費無料

13:00～17:00 (12:30 受付)

【会場 コラッセふくしま 5F 研修室】

来場参加 定員50名(申込順)

オンライン参加 (Youtubeによるライブ配信)

- オンライン参加の場合、事前申込不要。QRコードからYouTube配信をご覧ください。
- 来場参加及びオンライン参加で、資料配布を希望される方は裏面の事前申込書からお申し込みください。
- 新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンライン参加のみとなる場合があります。ご了承ください。



Youtube QRコード

基調講演 I

みんなで助かるための 防災教育

講師 矢守 克也 氏

(京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授)



基調講演 II

東日本大震災の教訓を活かす -防災教育教材さすけなぶるの可能性と課題-

講師 天野 和彦 氏

(福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 特任教授
さすけなぶる研究会 主宰)



パネルディスカッション

防災教育の最前線 -誰一人取り残さない社会へ-

- パネリスト
- 上島 安裕 氏 (ピースポート災害支援センター 理事・事務局長)
 - 大槻 知史 氏 (高知大学 地域協働学部/防災推進センター 准教授)
 - 齋藤 朝子 氏 (埼玉県立日高特別支援学校 小学部教諭)
 - 本多 環 氏 (福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 特任教授)
 - 矢守 克也 氏 (京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授)

モデレーター 天野 和彦 氏 (福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 特任教授 さすけなぶる研究会 主宰)

主催：福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

お問い合わせ 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター (通称：FURE)
TEL：024-504-2865 E-mail：fure@adb.fukushima-u.ac.jp

同時開催 防災教育教材ギャラリー

さすけなぶる・クロスロードなど、
防災教育に関する教材を紹介します。



防災教育の最前線

～誰一人取り残さない社会へ～

2022年 **3月6日** 日

時間 13:00～17:00 (~~12:30～受付~~)

会場 コラッセふくしま (福島県福島市三河南町1-20)

~~来場参加 定員30名(申込順)~~

オンライン参加 (Youtubeによるライブ配信)



Youtube QRコード

- オンライン参加の場合、事前申込不要。QRコードからYouTube配信をご覧ください。
- ~~来場参加~~オンライン参加で、資料配布を希望される方は裏面の事前申込書からお申し込みください。
- 新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンライン参加のみとなる場合があります。ご了承ください。

基調講演 I 講師

●京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授

矢守 克也 氏

京都大学防災研究所・教授。同大情報学研究所・教授、静岡大学客員教授、神戸学院大学客員教授などを兼務。現在、日本災害復興学会会長、地区防災計画学会副会長、国際総合防災学会理事などをつとめる。専門は、社会心理学、防災心理学。最近刊に、「防災心理学入門」、主著に、「被災地デイズ」(弘文堂)、「天地海人:防災・減災えっせい辞典」など。共同開発した防災教材に、「クロスロード」、「避難訓練支援アプリ“逃げトレ”」ほか。防災功労者防災担当大臣表彰(2021年)、経済産業省グッドデザイン賞金賞(“逃げトレ”) (2018年)、国際総合防災学会実践科学賞(2018年)、日本災害情報学会「学会賞(廣井賞)」(2015年)、日本自然災害学会「学会賞(学術賞)」(2015年)など、受賞多数。

基調講演 II 講師

●福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 特任教授

さすけなぶる研究会 主宰

天野 和彦 氏

特別支援学校の教員として15年。その後、県教育委員会や県男女共生センターなどで社会教育の仕事をする。2011年3月11日の東日本大震災、東京電力福島第一原発事故に際し、約2,500人の被災者を受け入れ、福島県内最大規模だった「ビッグパレットふくしま避難所」の県庁運営支援チーム責任者として運営に携わる。2012年より、福島大学うつくしまふくしま未来支援センターで被災者の生活再建や震災関連死などの調査研究を行うとともに、コミュニティ形成のための支援・研究活動を行っている。防災教育教材「さすけなぶる」の開発リーダー。

タイムスケジュール	12:30～ 受付
	13:00 開会・ご挨拶
	13:05～ 基調講演 I
	13:45～ 休憩 (10分)
	13:55～ 基調講演 II
	14:35～ 休憩 (10分)
	14:45～ パネルディスカッション
16:50 閉会	

パネリスト

●ピースボート災害支援センター **上島 安裕** 氏

2004年より、国際交流NGOピースボートのスタッフとして世界40カ国以上を訪問し、船上のプログラム責任者や途上国支援に携わった。2011年に一般社団法人ピースボート災害支援センターの設立に参画し、東日本大震災では宮城県石巻市で、現地責任者として延べ80,000人を越えるボランティアの活動コーディネートを行った。

●高知大学 地域協働学部/防災推進センター 准教授

大槻 知史 氏

南海トラフ地震が想定される高知で、東日本大震災などの教訓を生かしたコミュニティ防災の支援、防災教育等に従事。生命を守る対策とともに、助かった生命をつなぐ避難所運営のデザインにも取り組んでいる。

●埼玉県立日高特別支援学校 小学部教諭

さすけなぶる認定ファシリテーター

齋藤 朝子 氏

埼玉県立日高特別支援学校教員。これまで勤務した肢体校3校で防災を担当。2校目で東日本大震災を経験。その経験を基に現任校で周囲を巻き込みながら防災対策・防災教育に取り組む。学校独自の防災学習「かわせみ防災タイム」での指導や学校と地域・行政などと連携した「防災体験プログラム」を企画し実施している。特別支援教育の防災を広く知ってもらおうべく発信中。学校一声が大きいのが自慢。

●福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 特任教授

本多 環 氏

大阪市生まれ。2012年より、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター子ども支援担当として、東日本大震災により「困り感」を抱えた子どもや保護者を対象とした教育・心理的支援を継続的に実施。また、支援活動によって得られた「支援知」を生かし、中・高校生向け防災教育教材「Le・i・c (レイク)」や小学生向け防災教育教材「FULCA (フルカ)」を活用しながら「社会力の育成を目指した防災教育」に取り組む。

事前申込書 (~~2/27(日)締め切り~~)

氏名(フリガナ)	()
勤務先・学校など	
お住まいの市町村 (資料送付ご希望の場合は住所)	〒
参加方法 (○をつけてください)	来場参加 ・ オンライン参加資料希望
メールアドレス	
連絡先(電話番号)	

※下記連絡先までお願いいたします。FAX・メールいずれかの方法でお申し込みください。

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター [FAX] 024-548-5244 [E-mail] fure@adb.fukushima-u.ac.jp